学校番号	1009

令和８年度　公民科

教科	社会	科目	教養社会	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	自主教材						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

文化とは、「社会の成員としての人間によって獲得された知識、信条、芸術、法、道徳、慣習や、他のいろいろな能力や気質（habits）を含む複雑な総体」と定義されます。つまり文化とは、個人の才能だけでなく、その国や地域の「社会」による産物です。この授業では、地域でのフィールドワークや、グループワーク、論文、発表を通して、私たちの社会と文化について理解を深めていきましょう。

2　学習の到達目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次の通り育成することを目指す。
また、フィールドワークでは文化財などをただ見るのでなく、その歴史的背景を考察し、当時の社会について理解を深める。グループワークや論文では、さまざまな見方・考え方を理解した上で、根拠に基づいて自分の考えを説明できるようにする。

(1)　現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。【知識及び技能】

(2)　現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。【思考力・判断力・表現力等】

(3)　よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養（かんよう）される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。【学びに向かう力・人間性等】

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会と文化の諸事象についての知識を身に付けている。	社会と文化の諸事象について、さまざまな見方・考え方を理解した上で、何が正しいか自分なりの答えを探究し、根拠に基づいてそれを論理的に説明することができる。	社会と文化に対して興味・関心を持ち、自己の考えをしっかりと伝え、他者の考えを謙虚に聞き、仲間とともに真理を探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	社会系論文の書き方	a:論文の書き方の基本を理解している b:基本を押さえた形で論文を書くことができる c:意欲的に技能を身に着けようとしている	小テスト	レポート 発表	ワーク 振り返り
2	地域社会を知る(フィールドの日等でのフィールドワーク等)	a:歴史的背景と、多様な見方・考え方を理解している b:根拠に基づいて自分の考え方を説明している c:地域社会のことに関心を持ち、仲間とともに真理を探究しようとしている	小テスト	レポート 発表	ワーク 振り返り
	過去を知る	a:歴史的背景と、多様な見方・考え方を理解している b:根拠に基づいて自分の考え方を説明している c:歴史的諸事象に関心を持ち、仲間とともに真理を探究しようとしている	小テスト	レポート 発表	ワーク 振り返り
3	今を知る	a:歴史的背景と、多様な見方・考え方を理解している b:根拠に基づいて自分の考え方を説明している c:現代の諸事象に関心を持ち、仲間とともに真理を探究しようとしている	小テスト	レポート 発表	ワーク 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度